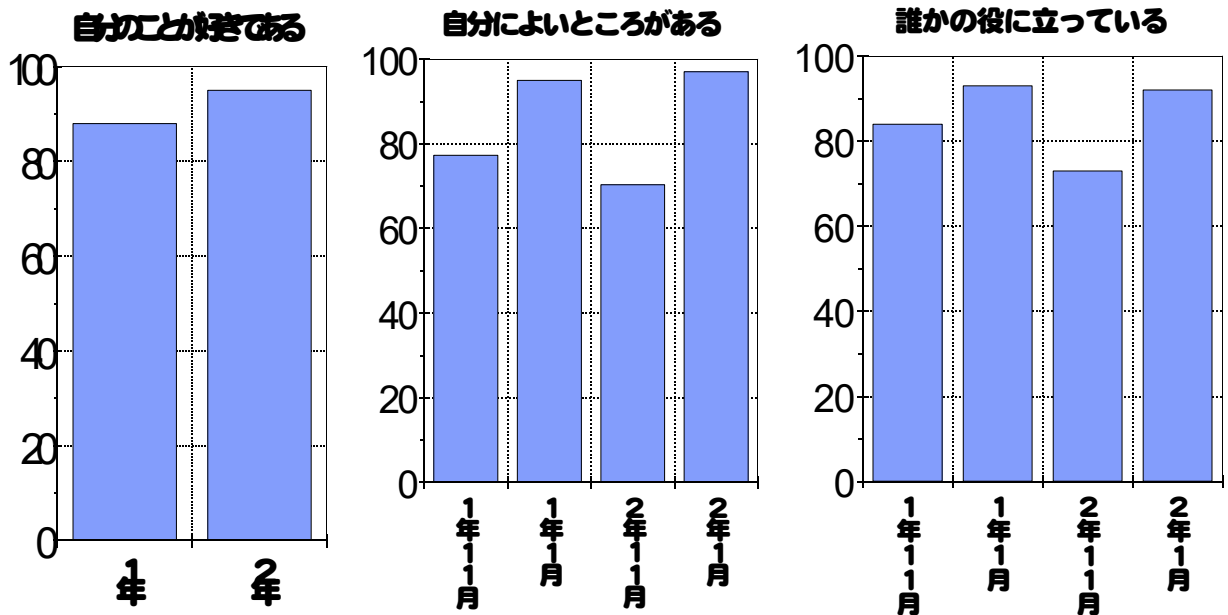


**令和2年度学校教育目標**

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

**自分を好きになろう (その2 低学年編)**

自分のことが好きであるが1年で約90%、2年で95%と高かったのですが、「自分によいところがある」と「誰かの役に立っている」のどちらもかなり増えて1月には90%を超えています。

1年生は、道徳で友だちにありがとうメッセージを渡したり、毎月の心のアンケートの時にクラスや友だちのいいところを書く欄を設けて発表会をしたりしているそうです。他の学年にも広げていきたい取組だなあと感じました。

2年生は、一人一人が全員から良いところメッセージをもらったものを掲示したり、帰りの会で褒め言葉のシャワータイムなどを設けたりしているそうです。こちらもいい取組ですね。ご家庭でもお子さんのいいところをたくさん伝えていただくとともに、「わたしは、～なところがあなたのいいところだと思うけど、あなたはどんなところが自分のいいところだと思う？」など、お子さんの意識もつかんでいただけたらなあと感じます。

**おすすめの本シリーズ28**

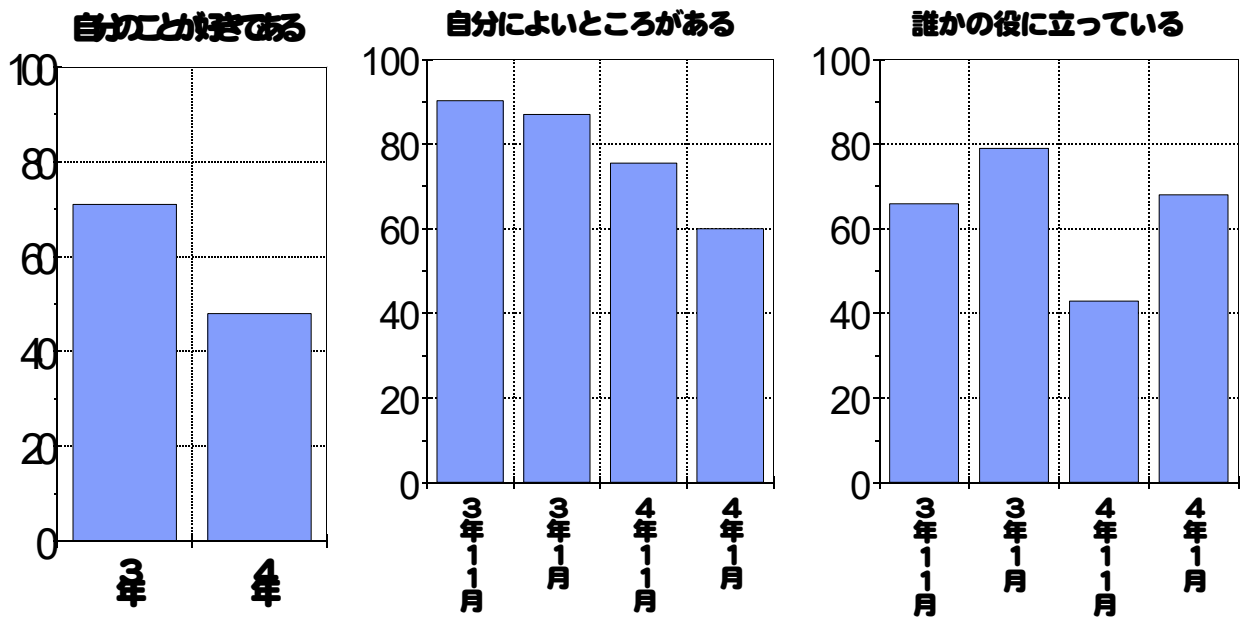
- ①本名「くまのパディントン」  
 ②対象年齢：3・4年から ③作者：マイケル・ボンドン  
 ④絵：ペギー・フォートナム ⑤212P ⑥出版社：福音館書店



一度読み始めたらやめられない、おかしなおかしなクマのパディントンのお話の第一冊目。ブラウン夫妻がパディントン駅で見つけた子熊が、夫妻に引き取られ縦横無尽に活躍します

\*裏には自分を好きになろう(中学年編)を紹介しています。ご覧ください。

## 自分を好きになろう（その3 中学年編）



3年は自分のことが好きな児童が71%です。自分にはよいところがあるが3%下がっていましたが、それでも90%近い値です。誰かの役に立っているは、66%から79%と13%も上がっていました。係活動などの友だちとの関わりの中で自分が友だちやクラスの中で役に立っているという自己有用感は育ってきているので、子どもがさらに自分のよさに気づくように、学校と家庭が一緒になって良い面を伝え合ったりすることを頑張りましょう。

4年生は、自分のことが好きな児童が48%と約半数です。自分によいところがあるが、75%から60%と15%も下がっていました。このことも自分を好きだと答えた児童が少なかった原因だと思います。ただ、誰かの役に立っているは、43%から68%と何と25%も伸びていました。これは誰かの役に立っている項目で一番伸びている学年でした。自分によいところがあるの項目を合わせてもほぼトップに近い伸びでした。

友だちとの関わりの中で自分が果たしている役割などは意識ができてきているので、自分のよさを意識する取組をもっと工夫する必要があるようです。国語や算数の時に、一人でも自分の考えをしっかりと伝える子どもや理科の時にすごい発想や観察をする子どもがたくさんいます。そのことのすごさに気づいていない気がします。こちらか視点を与えて、自分や友だちを見ていくことなども取り組んでみようと思います。

自分を好きになろう(高学年編)は、次回の通信で紹介したいと思います。お楽しみに！

## 授業参観、学級懇談会、PTA全体会お待ちしております

1	日時	3月3日(水)	13:45~
2	場所	各教室及び音楽室	
3	日程	授業参観	13:45 ~ 14:30
		PTA全体会	14:45 ~ 15:15
		学級懇談会	15:20 ~ 16:20



本年度最後の授業参観となります。たくさんの方々の参加をお待ちしています。